機密ファイルビューア利用方法

2025-07-01 版

株式会社日立ソリューションズ

1. はじめに

本書は，弊社のサイトよりダウンロードした機密ファイルビューアの使い方を説明しています。

1.1 機密ファイルビューアとは

機密ファイルビューアとは（以降，ビューア），秘文機密ファイルを復号するプログラムです。秘文機密ファイルとは暗号化され，パスワードで保護されたファイルのことです。復号対象の秘文機密ファイルを次の表に示します。

表 1-1 秘文機密ファイルの種類

ファイルアイコン	ファイル種類	拡張子	保護内容・特徴
	復号型の秘文機密ファイル	dea, aea※	復号するにはパスワードが必要となるため，ファイル内のデータの安全性が高まります。

注※ V10 までの秘文シリーズ，JP1/秘文シリーズにより作成された秘文機密ファイルです。

1.2　対象製品

表 1-2 に示す製品で作成した機密ファイルの復号が可能です。

表 1-2　対象製品

対象製品	対象バージョン	
	日本語版	英語版
秘文 AE Information Cypher	07-50 以降のバージョン	08-01 以降のバージョン
秘文 AE Optical Disc Encryption	09-00-/C 以降および 09-10 以降のバージョン	なし
秘文 AE MailGuard	07-50 以降のバージョン	なし
秘文 AE 開発キット	07-50 以降のバージョン	なし
秘文 File Encryption	07-51 以降のバージョン	なし
秘文 AE ContentsGate Base	10-00 以降のバージョン	なし
秘文 AE ContentsGate 開発キット	10-00 以降のバージョン	なし
秘文 AE SmartDevice Extension	10-02 以降のバージョン	なし
秘文 AE SmartDevice Encryption for Windows	10-02 以降のバージョン	なし
秘文 Server Extension	10-00 以降のバージョン	なし
ContentsGate Base	01-00 以降のバージョン	なし
ContentsGate 開発キット	01-03 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition Information Cypher	07-51 以降のバージョン	08-01 以降のバージョン
JP1/秘文 Advanced Edition Optical Disc Encryption	09-00-/C 以降および 09-10 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition MailGuard	07-51 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition 開発キット	07-51 以降のバージョン	なし
JP1/秘文 Advanced Edition File Encryption	07-52 以降のバージョン	なし
秘文 Data Encryption	11-01 以降のバージョン	11-02 以降のバージョン
JP1/秘文 Data Encryption	11-02-/A 以降のバージョン	11-02-/A 以降のバージョン

1.3　ビューアの実行環境

表 1-3　ビューアの実行環境

項目	内容
OS※1	次のどれかの OS がインストールされていることが前提です。なお，64 ビット版の Windows では，WOW64※2 モードだけに対応しています。 • Windows 10 Pro • Windows 10 Pro for Workstations • Windows 10 Enterprise • Windows 10 IoT Enterprise • Windows 11 Pro • Windows 11 Pro for Workstations • Windows 11 Enterprise • Windows Server 2016 Standard※3 • Windows Server 2016 Datacenter※3 • Windows Server 2019 Standard※3 • Windows Server 2019 Datacenter※3 • Windows Server 2022 Standard※3 • Windows Server 2022 Datacenter※3 • Windows Server 2025 Standard※3 • Windows Server 2025 Datacenter※3
CPU	各 OS で規定されているシステム要件に準じます。
メモリ	各 OS で規定されているシステム要件に準じます。
ハードディスク	秘文機密ファイルのファイルサイズ×3＋50MB 以上が必要です。

注※1 日本語版の Windows かつ表示言語が日本語の環境に対応しています。
注※2 WOW64 モードとは，64 ビット版の Windows 上で 32 ビット版の Windows をエミュレートする，Windows の動作モードのことです。
注※3 Server Core および Nano Server の構成には対応していません。

2. ビューアの実行

2.1 インストール

秘文機密ファイルを復号するための，ビューアのインストール方法をここでは説明します。
すでにインストール済みの場合，この手順は不要です。

(1) 弊社ダウンロードサイトよりインストール先の OS に応じたインストーラ（hbnvinst.exe）を入手します。
(2) インストーラをダブルクリックし，実行します。

注意

・OS の設定で UAC が有効化されている環境では，ビルトインアカウントの Administrator 以外のユーザで操作すると，ユーザーアカウント制御のダイアログが表示されることがあります。このダイアログで権限昇格を許可すると，インストールを開始できます。

(3) インストール画面が表示されたら，［次へ］をクリックし画面を進めます。
(4) ［インストール］をクリックすると，インストールが行われます。デスクトップ上に秘文機密ファイルを開くためのショートカットが作成されます。
(5) 完了画面が表示されたら，［完了］をクリックしてインストール手順は終了となります。

注意

秘文機密ファイルをダブルクリックしても，ビューアが起動しない場合，関連付けが正しく行われていない可能性があります。以下の手順を実施して関連付けの設定を回復してください。

1. ［スタート］メニューから［設定］－［アプリ］－［既定のアプリ］(OS のバージョンによっては，［設定］－［システム］－［既定のアプリ］)を開きます。
2. 既定のアプリ画面で、［ファイルの種類ごとに既定のアプリを選ぶ］(OS のバージョンによっては［ファイルの種類で既定値を選択する］)を開きます。
3. 表示された一覧を参照し，既定のアプリの設定が次のようになっていることを確認してください。「既定のアプリ」がすべて「HIBUN」と表示されている場合は関連付けが正しく行われています。関連付けが正しく行われていない場合は，手順 4 を実施してください。

名前	既定のアプリ	備考
.aea	HIBUN	
.dea	HIBUN	

4. 「既定のアプリ」が「HIBUN」となっていない項目を選択し，表示された画面で「HIBUN」を選択し，既定プログラムの変更を適用してください。

注意

ビューアは，Sysprep の CopyProfile 設定を使用した Windows イメージの作成に対応しておりません。機密ファイルビューアのインストールは，Windows イメージを展開後，ユーザごとに実施してください。

2.2　ビューアの起動

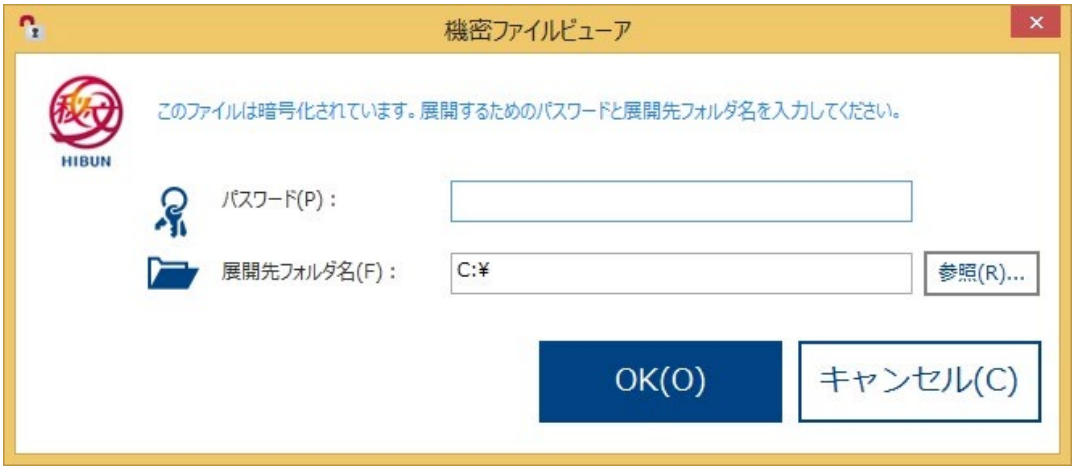
ビューアの起動方法を示します。エクスプローラ上で復号型の秘文機密ファイル（拡張子 aea または dea）をダブルクリックすると，ビューアが起動します。

2.3　復号型の秘文機密ファイルの復号方法

復号型の秘文機密ファイルをビューアによって，復号する方法を示します。

(1) ビューアのパスワード認証画面で，パスワードおよび展開先フォルダ名を入力します。
(2) 入力後に［OK］ボタンをクリックします。パスワードが認証されて，「展開先フォルダ名」で指定したフォルダに展開されます。

図 2-1　復号操作画面



- **パスワード**

  復号型の秘文機密ファイルを復号するためのパスワードを入力します。

- **展開先フォルダ名**

  機密ファイルを展開するフォルダ名を入力します。フォルダ名はフルパスで指定してください。なお，機密ファイルに含まれるファイルに，展開後のフルパスの長さが 255 文字を超えるファイルがある場合，復号できません。

2.4　アンインストール

(1) ［コントロールパネル］で，［プログラムのアンインストール］または［プログラムと機能］を選択し，インストールされているプログラムの一覧を表示します。

(2) 一覧から［機密ファイルビューア］を選択して，［削除］または［アンインストール］をクリックします。
「機密ファイルビューア」が表示されない場合は，この手順を実施する必要はありません。

(3) 次のフォルダを削除してください。

- Windows Server の場合

%ProgramFiles(x86)%¥HitachiSolutions¥Hibun Data Protection

注※ 環境変数 ProgramFiles(x86)には，通常は「*システムドライブ*:¥Program Files(x86)」が設定されています。

・ Windows 10 以降の場合

%LocalAppData%※¥Programs¥HitachiSolutions¥HIBUN Data Protection

注※ 環境変数 LocalAppData には，通常は「*システムドライブ*:¥Users¥*Windows ログオンユーザ名*¥AppData¥Local」が設定されています。

3. お問い合わせ先

最新の情報は，弊社までお問い合わせください。

URL：https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/products/form/?id=hibun

4. 商標

記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

All Rights Reserved. Copyright (C) 2015, 2025, Hitachi Solutions, Ltd.

－以上－